

平成 30 年度事業報告

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
5月26日	平成29年度事業報告及び決算が承認されました。 評議員会開催日が承認されました。 4月度5月度の理事長報告がありました。
9月28日	大根店譲渡の件は継続審議となりました。 6月度～9月度の理事長報告がありました。
11月15日	大根店の購入が承認されました。
翌3月16日	定款変更が承認されました。 人件費積立及び設備整備積立取崩が承認されました。 平成30年度補正予算(案)が承認されました。 給与規程変更(案)が承認されました。 平成31年度事業計画(案)及び予算(案)が承認されました。 評議員会開催日時が承認されました。 欠員理事の後任推薦が承認されました。 10月度～3月度の理事長報告がありました。

2 評議員会

開催日	議題
翌3月23日	定款変更が承認されました。 欠員理事の後任が承認されました。 平成31年度事業計画(案)及び予算(案)が承認されました。

○監事監査…5月18日(金)平成29年度事業報告及び決算の監査が行われ、適正との報告が行われました。

【生活介護事業運営】

1 平成30年度を振り返って

最も大きな出来事は、台風24号の影響で、大根のリサイクルショップの外壁が落ち、販売活動ができなくなったという事でした。通行人等居なかった為、二次的な怪我や事故に繋がらなかったのが幸いです。その後、土地・建物を購入し、生活介護の従たる施設としての修復、申請と年度末ギリギリになってしまいました。また、台風被害に対応した火災保険も手配したところです。

利用者定員は従たる事業所6名と合わせて30年度末40名となりました。年度途中で、就労継続支援B型への意向が2名、生活介護を2事業所併用していた方が1事業所に統一で利用者が3名減、虐待ケースで1名、天白養護学校の学卒者を2名受け入れ、3名増でした。

日中活動では、作業生活を中心に、個別支援の確立・工賃の確保を通年検討してきました。作業内容は、年度後半に取引先の変更を行い、より多くの利用者に関わってもらえる内容の物に変更しました。販売は、豊田スタジアムのフリーマーケットに参加し、相応の結果を残すことができ、今後の販売活動の1つとして考えていける実績でした。

強度行動障害の利用者で、他害の多い方の対応に課題を残しています。

2 開所状況

開所日数 260日 利用者延べ人数 6,460人 平均利用者数 24.8人 稼働率 73%

3 利用者数の変遷 (平成30年度末時点) 人

年度末	26	27	28	29	30
男	13	14	14	11	13
女	18	18	19	19	17
合計	31	32	33	30	30

30年度途中、就労継続支援B型への意向が2名、生活介護を2事業所併用していた方が1事業所に統一で利用者が3名減、虐待ケースで1名、天白養護学校の学卒者を2名受け入れ、3名増。利用者定員は従たる事業所6名と合わせて30年度末40名となりました。

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	6	1	2	2	0	11
女	0	7	2	7	2	1	19
合計	0	13	3	9	4	1	30

平均年齢 36.2歳

支援区分	3	4	5	6	合計
男	4	3	4	1	11
女	9	7	2	0	19
合計	13	10	6	1	30

平均支援区分 3.8

4 職員体制 平成31年3月末時点

管理者	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名		
生活支援員	常勤・専従	5名	有期・専従	2名
看護師			有期・専従	1名
事務員(相談員)	常勤・兼務	1名		
医師			嘱託医	1名

年度当初に経験者が1名入職し、年度末に1名退職しました。

5 生産活動(自主製品作りの販売・下請け) 単位:円

内容	29年度	30年度
自主製品売上(クッキー、刺しゅう雑巾他)	1,554,587円	1,472,080円
下請け(輸入雑貨検品、バネ検品他)	508,572円	528,723円
合計	2,063,159円	2,000,803円

※<販売先>

- ・天白区役所(毎週水曜日 10時~12時)
- ・ドリームショップ大根店(毎週木曜日 10時~12時) その他各種イベント

	29年度	30年度
工賃(30名分)	1,608,210円	1,467,860円
一人月平均	4,467円	4,077円

6 職員研修

日付	研修名
6月7日～8日	中堅研修
7/12日～13日	東海地区知的障害関係施設職員研究協議会
7月18日	成年後見実務研修
7月19日	精神疾患の理解
7月23日	社会福祉法改正対応セミナー
7月24日	接遇・マナー研修
8月3日	対人援助とコミュニケーション研修①
8月27日	管理者セミナー
9月6日	口腔ケア研修会
9月10日	困難事例対応研修
9月11日	薬学基礎知識研修
9月14日	対人援助とコミュニケーション研修②
9月14日	強度行動障害研修
9月18日	人材確保研修
9月26日	対人援助技法研修
10月12日	対人援助とコミュニケーション研修③
10月15日	スーパービジョン基礎研修
10月18日	サービス管理責任者研修
10月29日	発達障害研修
11月9日	労務管理研修
11月26日	医療知識研修
11月27日	食品衛生責任者養成講習会
12月3日	高齢者知的障害者に関する支援
12月12日	知的障害研修
12月19日	タイムマネジメント研修
2月7日～8日	イノベーション研修

スキルアップにも更に力を入れました。特に強度行動障害の研修には随時参加しました。

7 主な行事

○は土曜日の行事の日の内容

月	内 容
4	徳林寺花祭り スポーツ大会の練習会
5	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク)…杉山俊恵さんが代表に選ばれ、全国大会(福井)に出場しました。 事業所間フットベース交流会参加 防災訓練
6	グループ外出①②
7	グループ外出③ 風まつり参加 ふれあい一泊の旅(長野県売木村)…水野主任がてふてふの通常活動が終わってから現地合流。
8	ふれあい一泊の旅(長野県売木村)…若林が同様の形で現地合流 夏期休業 あすなろ夏まつり グループ外出④
9	防災訓練 バス旅行(伊勢シーパラダイス)…観光バス1台とハイエース1台を使い、家族も参加 名フィル鑑賞会に参加
10	イエローレシートキャンペーンに参加(大高イオン) 県フットベース大会に参加…4位の成績でした。 グループ外出⑤⑥
11	てふてふ感謝祭(地域交流)…ボランティア・家族会の皆様にブースの対応にあたっていただき、職員は利用者対応をメインに動きましたので、利用者の方々には、一昨年よりも楽しんでいただけたと思います。 福祉と映画のつどい(手話コーラス) 障害者スポーツ大会(ボウリング)参加 あけぼの祭り参加 桃山いきいきフェスティバル参加
12	忘年会 年末年始休業 グループ外出⑦
1	島田神社へ初詣 イエローレシートキャンペーンに参加(大高イオン) 新年会・成人式・ボランティアさんに感謝する会…100名近い参加者

2	グループ外出⑧ 避難訓練 お口の歯援 イエローレシートキャンペーン参加(大高イオン)
3	梅まつり参加(農業センター) グループ外出⑨

【共同生活援助運営】

1 30年度を振り返って

入居状況は、豊が丘に於いて、4月より1名、体験を経て6月より1名の入居があり平成31年3月末7名の利用(欠2床)です。藤が丘は引き続き満床です。

職員体制は、正規職員1名退職2名採用で、3名となっています。藤が丘・豊が丘どちらにも勤務するシフトで行いました。

その中で健康にかかわる通院等に於いて時間を作るようにしてきました。また、誕生日会や祝日の外出などを実施し、2つの居住場所が一括された行事を行うと共にバックアップ施設(日中活動てふてふ)との合同行事の開催も行いました。

2 開所状況

平均稼働率(延べ利用日数/利用可能日数/定員) 79%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
延べ利用日数	368	376	395	375	377	382	376	393	362	375	360	403	4614
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

<年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計人
	5	1	7	1	0	14

3 職員体制

管理者(サービス管理責任者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	3名		
世話人			非常勤	9名

4 職員研修

9月7日	地域生活支援研修
11月21日	地域生活支援研修
12月12日	知的障害研修
1月18日	GH世話人研修

5 夜間体制

夜間体制加算・・・常時電話対応、宿直対応は体験利用者に合わせて月1、2回行った。

【短期入所運営】

- 30年度を振り返って
8名の利用者が利用しています。
- 開所状況 稼働率（延べ利用日数/利用可能日数/定員）78%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	3	6	5	4	3	3	4	5	4	4	4	4	49
延べ利用日数	20	28	29	25	23	23	23	25	25	20	24	23	288
利用可能日数	30	31	31	31	31	30	30	30	31	31	28	31	365

【相談支援事業の経営】

- 一般相談支援(定着)事業

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
主な障害	知的	1	1	2	0	1
	精神	1	0	0	0	1
居住区	天白	1	1	2	0	2

天白区に一人暮らしの知的障害と及び発達障害、双極性障害を持った方（一般就労経験あり）の定着支援は再び不安定となり、8月より再開になりましたが、31年度7月に終了となります。

- 特定相談支援事業

平成30年度新規相談件数 8件(合計113件：内 契約解除累計 42件)

主な障害		居住区		利用されるサービス（重複を含む）	
知的	3	天白区	6	生活介護	2
精神	3	名東区	2	居宅支援	2
身体	2			共同生活	3
				就労支援	2

- 職員体制 常勤1名

- 職員研修

毎月第3木曜日 天白区機関相談支援センターによる部会に参加

平成30年7月14・15日 GH学会 どうつながり合う地域 ～どう暮らしたい？～

平成31年3月11日 各区における多機関の協働による包括的支援を考える

- 課題

強度行動障害の方を受け入れる施設がどれも定員満杯であって、新しく利用が出来ない状況です。また、すでに関わって頂いている事業所に於いて踏ん張ってもらう為の提案を提示できずにいます。31年度は、各区、又は他市の基幹相談を訪れ、巻き込み、情報を提供できるようにしていきたい。

- 障害児相談支援事業 2件